

社会的取り組みの状況

健康経営の取り組み

健康経営宣言

新潟原動機は「人材こそが最大かつ唯一の財産である」との IHI グループ経営理念のもと、従業員の健康を大切に
した経営に取り組みます。

私たちは、従業員の積極的な健康づくりを支援し、従業員が心身ともに
健康でいきいきとやりがいを持って働ける職場づくりに取り組み、一人ひ
とりが持てる能力を発揮し、成長することで、お客様や社会への発展に貢
献します。

2018 年 6 月 21 日
新潟原動機株式会社 代表取締役社長
矢矧 浩二



健康経営優良法人 2019（ホワイト 500）の認定

経済産業省と日本健康会議から 3 年連続で、「健康経営優良法人 2019（ホワイト 500）」に認定されました。健康
経営と働き方改革を両輪で進めることに加え、健康保険組合と労働組合のコラボヘルスにも積極的に取り組んでおり、
こうした企業姿勢が評価されました。



2019
健康経営優良法人
Health and productivity
ホワイト500

2018 年度 主な取り組み

- ① 受動喫煙対策：太田工場は室内喫煙所を撤去し、室外喫煙所のみとしました。
また、5 月 31 日の世界禁煙デーは全社禁煙日としました。
- ② 健康イベント：本社でタニタ体組成計測定会および健康教育を実施しました。
- ③ メタボ教育：健康診断でメタボリック症候群の判定者全員へ健康教育を実施しました。
- ④ 要治療の確認：健康診断結果で治療必要と判定された人へは、必ず受診するように追跡調査をしました。

今後も当社は、「健康経営」を実践する会社として取り組んでまいります。

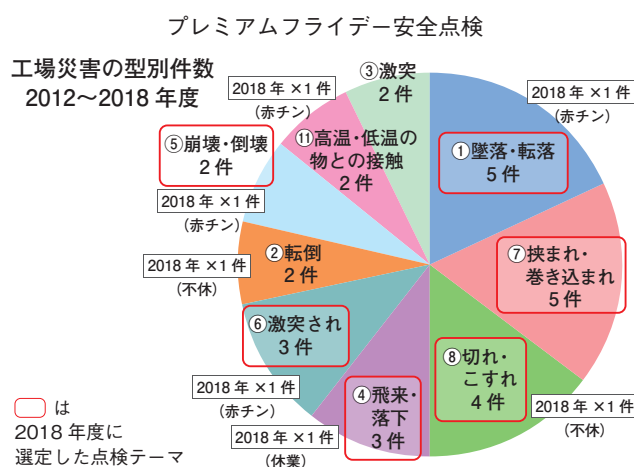
労働安全衛生の取り組み

2018年度は、5月に発生した休業災害の反省を踏まえ、「プレミアムフライデー安全点検」や「安全パトロールの強化」を通じて、新潟原動機グループで過去に発生した災害の対策を確実に水平展開する取り組みを実施しました。また、「ビデオ映像による教育」や「KYTトレーナー教育、一人KY教育」等を通じて、危険を予知する取り組みを実施しました。その結果、不休災害以上の労働災害は、2017年度の5件から3件まで減少し、安全

管理状況は良くなってきています。

2019年度は、2018年度に新潟原動機・ニコ精密機器全5工場と建設・カスタマーサポート部門の労働安全衛生マネジメントシステム監査で把握した各工場・部門の良好事例を水平展開することにより、自工場・部門の改善に繋げ、安全管理活動をレベルアップして、労働災害の無い、安心して働くことができる職場を実現します。

2018年度の主な取り組み



安全パトロール (例)



2018年11月30日 IHI 大谷副社長 太田工場安全パトロール

プレミアムフライデー安全点検のテーマ

7月：墜落・転落
8月：ワイヤー掛け転倒による倒壊災害(赤チン)
9月：フォークリフトによる挟まれ災害(構内請負)

10月：クレーン・玉掛による挟まれ災害(構内請負)
1・2月：切れ・こすれ
3月：「激突され」と「飛来・落下」

2019年度の主な取り組み

(1) 安全最優先の整齊とした職場環境・作業環境づくり

- ①経営層・事業部門トップの積極的関与により職場環境改善と安全最優先の職場風土を実現する
- ②2S + 3Sに代表される職場環境改善を行う

(2) 災害予防活動の強化

- ①過去の災害で実施した対策内容が、確実に継続して実施されているか。また、他工場・他部門で実施された対策内容が活かされているか職場点検を実施し改善する

工場：プレミアムフライデー安全点検

建設：現場パトロールチェックシートによる点検

- ②リスクアセスメントで作業場に潜む危険源を抽出し、「本質的・物理的安全対策」を優先して実行する
- ③作業中のビデオ撮影により危険源の抽出を行う

(3) 安全衛生管理水準の確保・向上

- ①入所3年未満者教育、能力向上教育および実技講

習を請負業者も含めて実施する

- ②新規入所者を中心にKYTトレーナー教育、一人KY教育を実施し「危険予知活動」をレベルアップさせるとともに、個々の作業、行動に対して一人KYを実施させる
- ③危険源を抽出するための着眼点を磨く教育を職長、班長を中心に実施する
- ④各職場で誰もが「守る／守らせるルール」を順守し、保護具の使用・不安全行動に対する指導を強化する
- ⑤「3H(初めて、久しぶり、変更)」時には事前検討を行い、要点を理解してから作業を行う
- ⑥安全意識向上のため「ご安全に！」が職場に根付く取り組みを行う
- ⑦自動車事故防止のため、配属・異動後3年未満者を対象にした安全運転教育を実施する

働き方改革について

当社では、従来から業務効率の向上に取り組んでおりましたが、「働き方改革」という言葉を使用した取り組みは2017年度からスタートさせたばかりです。2018年度はまだ2年目ですが、前年度と大きく3点の見直しを加えて実施しました。

①対象組織の拡大

技術センターを対象に行っていた働き方改革を、調達センターとカスタマーサポートセンターに拡大しました。

②全員参加のキックオフ

対象職場から代表2名を選出して行っていたキックオフを、全員参加で実施しました。

③プライベートの目標も設定した

ワーク・ライフ・バランスという視点から業務効率の改善にとどまらず、ライフの充実も目標に取り入れました。

これらの見直しを加えた結果、社内には「働き方改革」という言葉が広く浸透し、生産性に対する意識が一層向上しました。さらに、全員参加のキックオフによって職場の全員が合意してスタートが切れたこと、プライベートの目標の設定という楽しい側面を持ちながら取り組めたことは、この活動に弾みをつけました。

肝心の成果の面では、アフターサービス部品の出荷状況をリアルタイムに表示するシステムの開発により、代理店様の利便性向上と当社の業務の効率向上を両立させたり、RPAの導入により、人が行っていた定型作業をロボットに代行させたりするなど、業務によっては定量的な成果も出始めています。

今後も引き続き対象職場の拡大と定量的な成果が出せる活動を目指し、働き方改革に取り組んでまいります。



対象職場全員でのキックオフ



リーダーによる悩みと解決方法の共有



対象職場内の働き方改革会議



活動の進捗報告

安全衛生方針

労働安全衛生は、会社経営において最も重要、かつ基本的事項の一つであり、従業員の安全と健康を守ることは、人間尊重の理念に立脚した会社の社会的責務である。

この基本的考え方に基づき、職場における日常の安全衛生管理体制を一層強化し、特に管理監督者は常に危険に対する感受性を磨き、的確な安全指示をすることが必要である。

また、合わせて心身両面に亘る健康の保持増進のため、従業員一人ひとりが意識を高め、職場の安全は自ら守り、相互に指摘し合える風土をすることで、全員参加のもと災害・疾病のない快適な職場環境作りを推進する。

- (1) 真のゼロ災害を目指すため、安全五原則を行動指針とし、経営者、従業員、協力員による全員参加のもと継続的な安全衛生活動に取り組みます。
- (2) 労働安全衛生法をはじめ関係する法令を遵守するとともに、会社および事業所で定めた安全衛生規程類に基づき従業員の安全衛生を確保します。
- (3) 従業員の疲労軽減および心と体の健康の保持増進を図ります。
- (4) 経営幹部や安全衛生委員などによる安全衛生パトロール、ヒヤリハット、労働災害事例からきめ細かく分析した結果に基づき毎年の重点課題や安全衛生計画を定め実行します。
- (5) 労働安全衛生マネジメントシステムに基づく安全衛生活動を推進し、リスクアセスメントにより職場の潜在的な危険、有害要因を根本的に取除き、「危険ゼロ」の職場を作ります。

本報告書に関するお問合せ先

株式会社IHI原動機 末広町オフィス
品質保証室
〒101-0021
東京都千代田区外神田3-16-8
秋葉原三和東洋ビル6階
TEL 03-5289-4282
FAX 03-5289-4289
URL : www.ihico.jp/ips/
当社ホームページ内の「お問い合わせフォーム」
よりお問合せください。